

トピックス

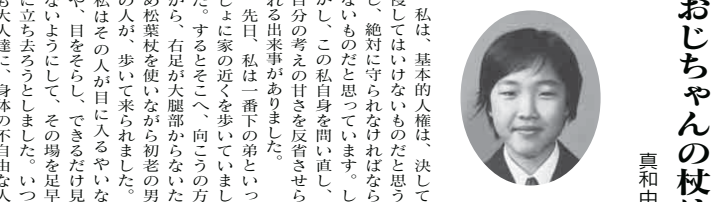
『南極教室』9月13日(火)中継

15期生 越智氏と交信しよう



越智勝治さん (15期)

北海道在住の越智勝治さん (15期) が第四十六次日本南極地域観測隊に、医療担当として参加した。観測隊を乗せた南極観測船「しらせ」は十一月二十六日に出発した。十二月二十日に着いたと、一年数ヶ月を南極で過ごすことになる。越智さんは真和を卒業後、佐賀医科大学に入学。大学時代から登山を始め、世界の山にも挑戦した。特に冬山が好きだと語る。観測隊に一般応募だったが、その経験を買われたのか隊に加わる事になった。南極での研究テーマは極寒地遠隔医療。南極の昭和基地とさらに奥の富士基地で研究に携わる。



おじちゃんの杖は、魔法の杖だね

真和中学校 一年 山口 悠子

私は、基本的な人権は、決して侵してはいけないものだと思う。絶対に守らなければならないものだと思っています。しかし、この私自身を問い直し、自分の考えの甘さを反省させられる出来事がありました。

私は、一番下の弟といっしょに家の近くを歩いています。するとそこへ、向こうの方から、右足が大股歩からなれない人が、歩いて来られました。私は、歩いて来られたら、私はいそいそと歩けるだけ見えないようにして、その場所を早く立ち去ろうとした。いつか大人達に、身体の不自由な人

を興味本位にじろじろと見るものではない、と言いかせられてきているので、私は無意識のうちになぞの行動をしてしまったのだと思います。ところが、弟は、その人の前へ駆け寄っていき、その人の前に立つたかと思つて、いきなり「おじちゃんには、足が一本しかないね。どうして」と話しかけた。私は、あまりにも突然のことでびっくりしながら「ううん、そんなことないです。だめー」と弟を注意し、手を引っぱってその場所を立ち去ろうとした。弟は、その場から動こうとしませんでした。そのおじさんは優しい穏やかな様子で「おじちゃんね、足が左の一本しかないよ。こつちの足が痛くなったから、手術して切ったんだよ」と話されました。弟はさかさまで「足を切った」とき痛かったかとおじちゃん、泣かなくていいよと言いました。おじさんは、相変らずにここにいた様子で、うん、痛かったよ。でも我慢した。おじちゃん、足が一本なくてもね、この松葉杖があるからほめてみてほしい、と話されました。何か困ったことがあったら逃げて無視してしまふ自分、まだまだ自分の中にあるということに気がつきました。これからはいかに人達と関わりを持っていかなくてはならないかと思いはりました。

朝日アマ囲碁十傑戦県大会

糸山剛志君の度目V 最後まで優勢保つ

第45回朝日アマ囲碁十傑戦県大会(日本棋院県支部、朝日新聞社主催)の順位決定戦が10日、熊本市白山2丁目の同支部で開かれ、同市長嶺東2丁目、真和高校3年糸山剛志さんが2年ぶり2回目の優勝を果たした。7月に東京で開催される全国大会に県代表として出場する。糸山さんは、決勝で昨年準優勝の熊本市の坂口仁寿さん(2)と対局。序盤の攻防で優勢に立ち、最後まで優勢を保つたまま、勝利をつかんだ。



2回目の優勝を果たした糸山剛志さん=熊本市白山2丁目

朝日新聞より転載

糸山さんは、終盤に挽回されて少し焦りが出た。もう少し落ち着いて打つことができた。良かったと課題を挙げ、今後の囲碁が目の持ち味。一攻一守の大会では、最低でも十傑入りしたいと抱負を話した。この日の順位決定戦は、3日にあった予選を通過した16人(一人欠場)が出場し、トーナメント形式で対戦、十傑が決まった。順位決定戦の結果は次の通り。

△3回戦	宇佐美孝志	中押し	村平頼直
△糸山剛志	中押し	山口義治	
豊永幹雄	不戦勝	萩原元気	
松永誠一	7目半	中押し	村崎成徳
内田直也	中押し	木佐健太	
清田慶生	8目半	中押し	副島謙一
坂口仁寿	時間切れ	中押し	副島謙一
△糸山	中押し	宇佐美	
△永	3目半	豊永	
△山口	中押し	清田	
△坂口	中押し	福島	

△準決勝 △糸山 中押し 松永 △坂口 中押し 内田 △糸山 8目半 坂口 △糸山 3位決定戦 △内田 不戦勝 松永 △清田 8目半 宇佐美 △清田 8目半 宇佐美 △清田 8目半 宇佐美 △清田 8目半 宇佐美 △清田 8目半 宇佐美 △清田 8目半 宇佐美 △清田 8目半 宇佐美

退任の先生

栗原 庸夫先生	言語
江島 迪彦先生	地理
東矢 力也先生	理科
浦池 洋先生	理科
後藤 芳生先生	国語
山本 安子先生	(真和中学女子寮)

新任先生紹介(自己紹介)

- | |
|--|
| 宇藤 元文先生
①担当教科 数学
②前任校 東甲中学校
③好きなことは 読書、旅行、何事も 成らざらん
④趣味 読書、ジョギング |
| 森崎 忠昭先生
①担当教科 化学
②前任校 鹿本高校
③好きなことは 誠心誠意、蘭など(栽培・模型作り、スポーツ) |
| 河原真理子先生
①担当教科 理科
②前任校 楠中学校
③好きなことは 自分、自分の可能性を信じて前進する
④趣味 旅行、おさんぽ |
| 中村 彦七先生
①担当教科 地理
②前任校 熊本北高校
③好きなことは 急がば遅れ
④趣味 写真登山ウォーキング |
| 阿レックス・ジュリエット先生
①担当教科 英会話/そこの学習
②前任校 1の学校初め
③好きなことは PALETTE IS A VIRTUE
④趣味 旅行料理 走る (ジョギング) 読書 |
| 田代 郁子先生
①担当教科 寮監
②前任校 熊本市立飽田南小学校
③好きなことは 清くあれ 美しくあれ 優しくあれ
④趣味 浅く広くいろいろです |
| 和田 俊彦先生
①担当教科 英語
②前任校 鎮西高校
③好きなことは 尊いのは足の裏である
④趣味 映画掃除をする |
| 橋本 仁子先生
①担当教科 事務
②前任校 鎮西高校
③好きなことは 明日があるさ!
④趣味 音楽鑑賞 旅行など |

- | |
|--|
| 歌岡 宏信先生
①担当教科 理科(生物)
②前任校 第二高校
③好きなことは 共生
④趣味 自然観察、音楽など |
| 横井由紀子先生
①担当教科 世界史
②前任校 熊本北高校
③好きなことは 知は力
④趣味 テニス、マンドリン |

新入生のことは

新しいスタート

真和中学校 一年二組 太田 優希



四月八日。入学式に臨み、喜びと感動で私の心は

制服、クラスメートなどすべてが初めて、とても新鮮な毎日です。「これから」に対する皆さんの期待や不安もあります。私は、自分の中学生生活を次のようにしたいと考えています。

まず一つ目は、大きく高い目標を持ち続け、とことん頑張ってみようと思えます。そのためは、小さなことでも一つ一つ地道にやり遂げていきたいです。二つ目は、いろいろなことに触れ、チャレンジして、見聞を広めることです。

三つ目は、人と出会うことを通して思い出をたくさん作りたいです。

四つ目は、一年一人間的にも成長していきたいです。今はまだ未熟ですが、当たり前のことが普通に行える人に近づきたいから始められたいと思います。

最後に真和中学では、小学校の時にはなかった宗教の勉強があります。宗教を通して、日常生活の中で感謝する心を養い、自らを日々向上させられるように努力したいと思います。

中学生になると、勉強の教科が増え、難しくなり、授業が速く進むなどあらゆる面で大変になると聞いています。私は、これまでの延長ではなく、まったく新しい気持ちで、もっとつとめと真剣に、自分に厳しくしていくことが必要だと感じています。自分から進んで



考えていけるようになりたいと思います。でも、まずは授業についていけることが一番早く学校に慣れ、自分なりの生活リズムを、一日でも早くつかみたいのです。そして、真和中学の高いレベルで進められるカリキュラムの流れについていけるようにしたいです。小学校の六年間があったという間だったので、中学校の三年間はもっと早く過ぎていくような気がしますが、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。入学して間もない今、感じていくこれらの思いに恥じないように、そして期待に応えられるように、私は私の中学生生活を高いレベルで充実させることを精いっぱい頑張ります。

スタート

真和高校 一年一組 白石 雅大



平成十七年四月八日、お釈迦様のお誕生日に、私は「高校生」として再び学校の新しく学びました。公立から新しく進学してきた生徒のみんなを見て、こちら

り、忘れかけていた誠・信・望の意味を再び頭の中に入れて、頑張ることができました。誠実を持って一貫すること。信念を養い、希望を持ち努力すること。これらの三

点、これから大学を目指すし、社会へ出て行く私たちの大きな支えとなっていくものだと思っています。私はこの言葉を常に忘れずにいたいと思います。

その後の高校生のオリエンテーションでは、高校生になったという自覚のこころ、気持ちの切り替えのこ

とや、学習に対する姿勢のことなど、たくさんの重要なことを聞くことができました。中でも、予習と復習の重要性、授業中の積極的な発言、わからないことを積極的に質問すること、友達と協力して勉強すること、など、先生方や、諸先輩方から聞いています。その短いという三年間を、世の中のために人間になるよう、人と語り、謙



真和創立50周年記念のロゴマーク決定

真和中・高等学校は、5年後の平成22年に創立50周年を迎える。このほど学園創立50周年を象徴するロゴマークが決定した。

デザインは、50周年の数字を造形のベースとし、真和中・高等学校の校訓(誠・信・望)を表す正円(人材)を内包し、豊かに膨らみ、フルに上昇し未来に向かう学園を生き生きと伸びやかに表現している。

エンジ色の本校スクールカラーのロゴマークは、今後、さまざまな行事やイベントでの広報アイテムとして使用される。このロゴマークがアピールの先頭に現れ、創立50周年事業成功の大きな力となることを期待している。

真和創立50周年 SHINWA 50th ANNIVERSARY

入試状況 平成18年度 真和入試ガイド

中学校入試

毎年受験者増加

特待生の受験者は一昨年は一六七名、昨年は一九二名に対して本年度は二九二名。

専願生の受験者は一昨年は三四名、昨年は五七名に對して本年度は六一名。

このように、毎年受験者が増加し、真和中学への志向が強くなっています。

高等学校入試

毎年特待生A、Bに入学

昨年度は特待生A一名、特待生B二名、本年度も特待生A一名、特待生B一名の入学がありました。

再受験者 “多数合格”

特待・専願生試験で不合格になり、一般生試験の再受験者は五七名のうち、合格者が四三名ありました。このように再受験者が一般生試験で多数合格しました。

そこで特待・専願生試験で不合格になってもあきらめずに、合格のチャンスが二度あるという考えで一般入試にチャレンジして欲しいと思います。

平成十七年度 特待生

【高等学校】				【中学校】			
特待生A	特待生B	専願	一般	特待生A	特待生B	専願	一般
三年 桑原 麻菜美	三年 増田 翔太	三年 松本 春香	三年 吉村 文孝	二年 宮島 宗一郎	二年 後藤 菜摘	二年 内山 博樹	二年 大井 佳奈
二年 糸山 剛志	二年 世古 眞吾	二年 白原 隆志	二年 瓜生 はるか	一年 徐 露玮	一年 光吉 ころ	一年 徐 露玮	一年 徐 露玮
一年 宮崎 善郎	一年 富永 陽大	一年 宮崎 善郎	三年 後藤 正太郎	三年 後藤 正太郎	三年 後藤 正太郎	三年 後藤 正太郎	三年 後藤 正太郎
二年 森屋 芳理	二年 大瀧 宏信	二年 小野寺 啓	二年 益田 武市	二年 益田 武市	二年 益田 武市	二年 益田 武市	二年 益田 武市
二年 浦田 志乃	二年 志乃 理	二年 志乃 理	二年 益田 武市	二年 益田 武市	二年 益田 武市	二年 益田 武市	二年 益田 武市

入試説明会

(前年度の入試問題(解答例)も配布します)

【第1回】10月22日(土)

【第2回】11月23日(水・勤労感謝の日)

(いずれも午前10時より本校で行います)

【天草地区説明会】11月3日(木・文化の日)

午後2時より美栄プラザ (旧・本渡勤労者総合福祉センター)

【東北地区説明会】11月5日(土)

午後2時より玉名市・大麻文化会館(青年婦人会館)

【県南地区説明会】11月12日(土)

午後2時より八代市・やつしろ(ハーモニーホール)

(3階大会議室)

【17年度中学生入試結果】				【17年度高等学校入試結果】			
受験者	合格者	入学者	合格点	受験者平均点	特専	一般	合計
特待A	51(4)	0(0)	470(461)	国語	113	100	213
特待B	15(15)	0(2)	440(421)	算数	80	47	127
特待C	153(134)	29(27)	294(287)	社会	66	53	119
特待計	219(192)	173(153)	291(29)	理科	74	56	130
専願	61(57)	39(38)	267(235)	合計	333	256	589
一般	41(45)	22(18)	15(9)	264(309)	国語(50分・150点)		
総計	321(294)	234(209)	80(75)		算数(60分・100点)		
					社会(40分・100点)		
					理科(40分・100点)		
					合計		
					各教科(50分・100点)		

()内は16年度